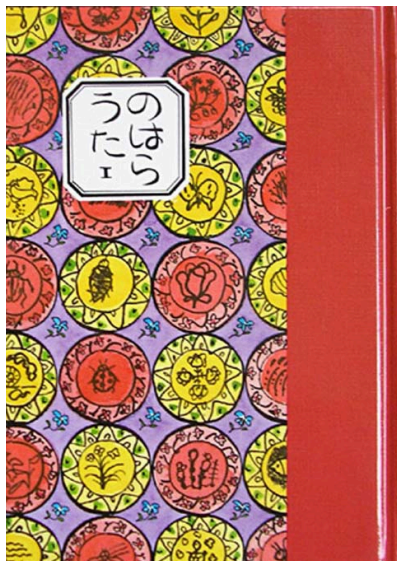




のはらうた 1

くどうなおこ 作(くどうなおことのはらみんな)

島田光雄 画

童話屋 1984年 1250円

のはらむらに住む風や動植物たちのうたを、「のはらみんな」の代理人の作者が書きとめて1冊にまとめたものです。かぜみつる、へびいちのすけなど、みんな姓と名をつけてもらっています。おがわはやとの「ぼくは いつか きっと うみをくすぐってやる」のように元気あふれる「うみへ」や、こねずみしゅんの「どんぐりが ぽとぽとり やぶのなか ころころり のねずみが ちろちろり おいしいぞ かりこりり」とリズムカルでかわいらしい「どんぐり」など、約50編の詩がおさめられています。どの作品も暖かくて楽しく、のはらむらの住人それぞれの目にうつる自然を感じることができます。子どもの手におさまるほどの小さな詩集です。

シリーズは4まであり、他に出版20年を記念して「のはらみんな」99人全員が登場する「のはらうたわっはっは」があります。



幼い子の詩集パタポン 1

田中和雄 編
島田光雄 画

童話屋 2002年 1250円

日本と世界の詩を集めた子どものための詩集です。「子どもたちと一緒に、うたって、よんで、遊んでください」とまえがきにあるように、「赤蜻蛉」「ちちんぷいぷい」など、やさしくてすぐ口ずさめるような短い詩がおさめられています。シリーズは2巻まであります。

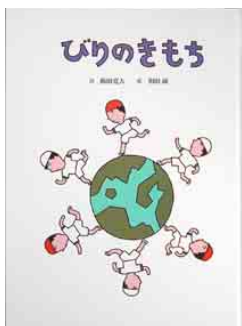


てんぷらぴりぴり

まど・みちお 著
杉田豊 画

大日本図書 1968年 777円

「ほら おかあさんが ことしも また てんぷらぴりぴり あげだした」と、シソの実をてんぷらにする様子をうたった「てんぷらぴりぴり」など、29編がおさめられています。石ころ、スイカのたね、しゃぼん玉など、子ども達に身近なものが豊かにいきいきとうたわれています。



びりのきもち

阪田寛夫 詩
和田誠 絵

童話館出版 1998年 1400円

「どうしておなかがへるのかな けんかをするとなへるのかな」の「おなかのへるうた」や、「サッチャんはねサチコって いうんだ ほんとうはね」の「サッチャん」など、17編の詩がおさめられています。友だちや家族、学校など日常のことを題材に、子どもの気持ちそのままに話し言葉で綴られています。



マザー・グースのうた第1集

谷川俊太郎 訳

堀内誠一 画

草思社 1975年 1300円

英語の伝承童謡であるマザー・グースが紹介された本です。「ロンドンばしが おっこちる」や「ハンプティ・ダンプティ ヘいにすわった」など、おなじみのものから、教訓的なもの、ナンセンスなもので、さまざまな内容の詩が30編おさめられています。シリーズは全5集です。

